

タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS1305						
科目名	競技スポーツ原論						
担当教員	森丘 保典						
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	後期				
曜日・時限	月 2						
講義室	オンライン	単位区分	必				
授業形態	講義	単位数	2				
科目大分類	専門						
科目中分類	総合基礎						
科目小分類	専門基礎						
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1－E（学識・専門技能）専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 D P 4－I（理解力・分析力）文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E 1 学識と専門技能（60%） I 1 理解・分析と読解（40%）						
教員の実務経験	担当教員は、公益財団法人日本スポーツ協会での職歴や、文部科学省、スポーツ庁などの官公庁および民間団体における学識経験者としての経歴を有しており、競技スポーツの歴史やその文化的特性に関して実務経験を踏まえた情報提供や知識生産を行います。（第7～9回）						
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進修期～3 発展期						
科目概要・キーワード	本講義では、競技スポーツを対象としたコーチング学を中核にした関係領域を学習し、競技スポーツに関する理論体系を歴史的な発展を踏まえながら概説することによって、選手・学習者とコーチ・指導者に必要な形式科学・社会科学・自然科学・医科学にまたがる基礎的な課題を資料・視聴覚教材を用いて理解します。本講義は、他の個別理論領域への入門的役割を担います。授業形態は講義形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（オンデマンド型・ライブ配信型）を取り入れます。 ■キーワード 競技・プレイ・スポーツ文化・スポーツ科学						
授業の趣旨	■副題 競技スポーツの歴史とその文化的特性について学ぶことにより自身のスポーツ観（思想）を鍛えましょう。 ■授業の目的 スポーツの概念や歴史、文化的特性、社会に与える影響等について専門的な知識を習得するとともに、これまでの自身のスポーツ観（思想）を省察することを通して、スポーツについて学際的・総合的に学ぶための基礎的能力を身につけることを目的とします。 ■授業のポイント スポーツは、動物の「遊び」や「闘争」を起源とした古く根源的な営みであるといわれており、先史から現代に至るまで、それぞれの時代や社会特有の価値観に影響をうけつつ、社会的慣習をとめないながら、今日に至るまで継承されています。本講義では、スポーツ現象の中でもとりわけ競争性の比重が高い競技スポーツの起源と歴史の変遷、さらにはその文化的特性などについて学習することを通して、学際的・総合的な拡がりをもつスポーツ科学の理論体系についての理解を深めます。						
総合到達目標	■競技スポーツについて総合的・科学的に学ぶための学識・専門技能を高めるために、スポーツの概念や歴史、文化的特性、社会に与える影響等について学修することを通して、これまでの自身のスポーツ観（思想）を省察することができる。 ・スポーツの起源と歴史、スポーツ概念とその文化的特性について説明できる。（第2～9回） ・スポーツ科学の文化的・学問的な拡がりについて理解し、人文・社会・自然（医学）分野の研究内容および方法について説明できる。（第10～13回） ・スポーツが社会に与える影響や有用性等について、具体的事実を挙げて考察できる。（第14～15回）						
成績評価方法	■リアクションペーパー13回（50%）：適用ルーブリック I 1 （評価の観点）授業の内容を理解してうえで、自身の体験・経験と関連付けながら自分の考えについて記述できているかを評価します。 （フィードバック方法）授業時間中に優れたリアクションペーパーの内容紹介と解説を行います。 ■レポート1回（50%）：適用ルーブリック E 1 （評価の観点）当該単元全体の理解度を測ります。 （フィードバック方法）授業時間中に優れたレポートの内容紹介と解説を行います。						
履修条件	特になし						
履修上の注意点	特にありません。						
授業内容	<table><tr><td>回</td><td>内容</td></tr><tr><td>1</td><td>①授業テーマ オリエンテーション（全体テーマおよび進め方の説明） ②授業概要</td></tr></table>	回	内容	1	①授業テーマ オリエンテーション（全体テーマおよび進め方の説明） ②授業概要		
回	内容						
1	①授業テーマ オリエンテーション（全体テーマおよび進め方の説明） ②授業概要						

	本科目の概要、授業の進め方と評価および学習を行うにあたって留意すべき点などについて概説し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする。 ③予習（120分） シラバスの内容を一読し、図書館等にある参考書を活用して授業内容の全体像を把握する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、授業の全体像や評価等、自分の学習計画などについて確認する。
2	①授業テーマ スポーツの起源 ②授業概要 動物のメタ・コミュニケーション行動から先史のスポーツについての学識を深めるとともに（E1）、その特徴について述べるようになる（I1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびポータルサイトの授業資料を確認し、スポーツ起源や先史のスポーツに関する要点について整理する。
3	①授業テーマ 古代スポーツの特徴 ②授業概要 古代スポーツ（古代オリンピック）の歴史についての学識を深めるとともに（E1）、その特徴について述べるようになる（I1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびポータルサイトの授業資料を確認し、古代スポーツ・古代オリンピックに関する要点について整理する。
4	①授業テーマ 中世スポーツの特徴 ②授業概要 中世スポーツの歴史や「Sport」の語源や意味の変遷についての学識を深めるとともに（E1）、その特徴について述べるようになる（I1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびポータルサイトの授業資料を確認し、中世スポーツや「Sport」概念に関する要点について整理する。
5	①授業テーマ 近代スポーツの歴史① ②授業概要 近代スポーツの誕生および発展の歴史についての学識を深めるとともに（E1）、その特徴について述べるようになる（I1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびポータルサイトの授業資料を確認し、近代スポーツの誕生と発展の歴史に関する要点について整理する。
6	①授業テーマ 近代スポーツの歴史② ②授業概要 近代スポーツの世界的普及と近代オリンピックの誕生についての学識を深めるとともに（E1）、その特徴について述べるようになる（I1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびポータルサイトの授業資料を確認し、近代スポーツの世界的普及と近代オリンピックの誕生に関する要点について整理する。
7	①授業テーマ 日本の近代スポーツの歴史① ②授業概要 日本スポーツ協会での実務経験を踏まえた情報提供によって、日本の近代スポーツのはじまりや日本のスポーツの父と呼ばれる嘉納治五郎の功績についての学識を深めるとともに（E1）、その特徴について述べるようになる（I1）。 担当教員の実務経験を踏まえて、大日本体育協会・日本オリンピック委員会の創立から現代に至るまでの歴史やその取り組みについて重点的に講義します。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびポータルサイトの授業資料を確認し、日本の近代スポーツのはじまりに関する要点について整理する。
8	①授業テーマ 日本の近代スポーツの歴史② ②授業概要 日本スポーツ協会（旧日本体育協会）での実務経験を踏まえた情報提供によって、嘉納治五郎の思想（精力善用・自他共栄）やクーベルタンとの共通点についての学識を深めるとともに（E1）、その特徴について述べるようになる（I1）。 担当教員の実務経験を踏まえて、大日本体育協会・日本オリンピック委員会の創立から現代に至るまでの歴史やその取り組みについて重点的に講義します。 ③予習（120分）

	参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびポータルサイトの授業資料を確認し、嘉納治五郎の思想やクーベルタンとの共通点に関する要点について整理する。
9	①授業テーマ 日本の近代スポーツの歴史③ ②授業概要 日本スポーツ協会（旧日本体育協会）での実務経験を踏まえた情報提供によって、日本における近代スポーツの伝播と普及についての学識を深めるとともに（E1）、その特徴について述べるようになる（I1）。 担当教員の実務経験を踏まえて、大日本体育協会・日本オリンピック委員会の創立から現代に至るまでの歴史やその取り組みについて重点的に講義します。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびポータルサイトの授業資料を確認し、日本における近代スポーツの伝播と普及に関する要点について整理する。
10	①授業テーマ スポーツ文化論の視点 ②授業概要 スポーツをめぐる文化の構成要素（観念文化、行動文化および物質文化）についての学識を深めるとともに（E1）、その特徴について述べるようになる（I1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびポータルサイトの授業資料を確認し、スポーツをめぐる文化の構成要素に関する要点について整理する。
11	①授業テーマ スポーツにおける観念文化 ②授業概要 スポーツの文化的特性における観念文化に焦点化し、スポーツ観（スポーツ思想、スポーツマンシップなど）についての学識を深めるとともに（E1）、その特徴について述べるようになる（I1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびポータルサイトの授業資料を確認し、観念文化としてのスポーツ観に関する要点について整理する。
12	①授業テーマ スポーツにおける行動文化① ②授業概要 スポーツの文化的特性における行動文化に焦点化し、スポーツ行動様式のなかのスポーツ規範体系（ルール・規則などの法的規範とフェアプレイなどの道徳的規範）についての学識を深めるとともに（E1）、その特徴について述べるようになる（I1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびポータルサイトの授業資料を確認し、行動文化としてのスポーツ規範体系に関する要点について整理する。
13	①授業テーマ スポーツにおける行動文化② ②授業概要 スポーツの文化的特性における行動文化に焦点化し、スポーツ行動様式のなかのスポーツ規範体系（ルール・規則などの法的規範とフェアプレイなどの道徳的規範）についての学識を深めるとともに（E1）、その特徴について述べるようになる（I1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびポータルサイトの授業資料を確認し、行動文化としてのスポーツ規範体系に関する要点について整理する。
14	①授業テーマ スポーツにおける物質文化 ②授業概要 スポーツの文化的特性における物質文化に焦点化し、スポーツ物的事物（スポーツ施設・設備、用具・用品、ドーピングなど）の発展および問題点などについての学識を深めるとともに（E1）、その特徴について述べるようになる（I1）。また、授業内（期末）レポートを実施する。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびポータルサイトの授業資料を確認し、物質文化としてのスポーツ物的事物に関する要点について整理する。
15	①授業テーマ まとめ ②授業概要 これまでの学習してきた内容の要点について振り返りながら、まとめと質疑応答を行う（E1、I1）。 ③予習（120分） 前回までの講義ノートやポータルサイトの授業資料を再読し、各回のテーマについての自身の考えや疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 授業の内容（講義ノート）を振り返りながら、今後の自身の学修および実践の方向性について検討する。

関連科目	コーチング学研究法演習（SSCS2317）
教科書	特に指定しません。
参考書・参考URL	スポーツと君たち—10代のためのスポーツ教養—（大修館書店） よくわかるスポーツ文化論（ミネルヴァ書房） スポーツの歴史と文化（道和書院）
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 金曜3限 それ以外の時間については、メールにて事前にアポイントをとればラーニングセンター等に対応します。
研究比率	

